

大社高校学校だより

社高の風

令和3年

3月

第67号

祝

第13回卒業式が挙行されました

3月2日(火)午前10時から、大社高校第73回卒業証書授与式が本校体育館にて行われました。今年も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、卒業式への参加は卒業生とその保護者及び教職員だけとなりました。けれども、在校生も卒業生の門出を祝福したいという思いから、生徒会執行部が中心になって「桜プロジェクト」を企画して制作を行いました。卒業生に対する思いを、在校生一人ひとりが桜の花びらの形の紙に書き、式場の入り口に桜並木を作りました。たくさんの人の思いに包まれて、普通科238名、体育科39名の計277名の生徒たちは、思い出の多い学び舎を巣立っていきました。

校長式辞に続き、在校生代表の中野あみさんが送辞を、そして卒業生代表の勝部翔也さんが3年間の高校生活に対する思いを込めて答辞を述べました。式は厳粛な中にも和やかな雰囲気が進み、卒業生の退場とともに閉じました。

これからはそれぞれが新しい道に進むことになりますが、高校3年間での経験が、これからの人生の大きな礎となるものと確信しています。卒業生の皆さんのご多幸と更なる活躍を期待しています。

第七十三回島根県立大社高等学校卒業証書授与式



古 居 晃 校長 式辞 (抜粋)

皆さんは、3年前、夢と希望を抱きこの大社高校の門をくぐってきたと思います。入学後は、学習活動、学校行事、生徒会活動、部活動など日々熱心に取り組んで参りました。しかしながら締めくくりとなる3年時には、新型コロナウイルス感染症拡大にて様々な教育活動が制限され、苦しみ抜いた1年になってしまったことと思います。(中略)しかし、長期間の我慢を強いられながらも工夫と努力を怠らず、互いに協力し合い、励まし合いながらこの状況乗り越え、本日の卒業までたどり着きました。奇しくも、今から10年前にも国難と言える状況が発生しました。平成23年3月11日に発生した「東日本大震災」です。皆さんが確か小学校の2年生だったと思います。あれから今年で10年が経とうとしています。その震災の翌年に行われた選抜高校野球の開会式において、被災地である石巻工業高校・阿部主将の選手宣誓がいまだに私の脳裏から離れません。「人はだれでも答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくつらいです。しかし、日本が一つになりその苦難を乗り越えることが出来れば、その先に必ず大きな幸せが待っていると信じています。だからこそ、日本中に届けます。感動・勇気・そして笑顔を見せましょう、日本の底力、絆を」。

卒業生の皆さんは、次の時代の中心を担っていく人材です。皆さんの活動、活躍によって、この大社高校に島根県に、そして日本、はたまた世界中に届けてほしい「感動・勇気そして笑顔」。見せて欲しい、「卒業生皆さんの底力・絆を」。元気に、そして、よりいっそうたくましく成長して活躍してくれることを切に願っています。



在校生代表

中野 あみさん 送辞 (抜粋)



今年の卒業式も残念ながら在校生のいない形になってしまいました。お世話になった先輩方への感謝を直接伝えられない在校生を代表して、感謝申し上げます。本当にありがとうございました。出席できない在校生のメッセージを昨日から昇降口に展示させていただきました。在校生が心を込めて一枚ずつメッセージを書き、皆様の前途が花開くように桜の木のように仕上げました。皆様の未来を、在校生一同応援しています。



卒業生代表

勝部 翔也さん 答辞 (抜粋)



三年間を振り返ってみると、長いようで短い年月だったと改めて思います。三年間共に同じ高校で過ごした友達は、気がつけば、いつの間にかそれぞれの進む未来に向けて歩み出していることに感慨深いものがあります。今日までの三年間、楽しいこともつらいこともたくさんありました。それらすべてが私にとっての宝物です。在校生の皆さんにも感謝しています。部活動などで、私たち卒業生を信じてついてきてくれたこと、共に鹿城祭を盛り上げてくれたこと。頼もしく、面白い後輩たちでした。次は皆さんが先輩として後輩を引っ張っていく番です。また、困難にぶつかることがあるかとは思いますが、「社高魂」を持った皆さんなら、きっと乗り越えられるはずです。自分を信じて頑張ってください。(中略)「総合的な学習の時間」やボランティア活動などで、地域の方々にも大変お世話になりました。様々な体験をするなかで、出雲のあたたかさを肌で感じ、地域とつながって生きていることを実感しました。私たちは、これらの恩を一生忘れず、いつの日にか家族や母校、地域に恩返しができるように、これからも日々精進してまいります。

進路指導部より

進路に関する今年度の大きな変更点は、就職選考の時期が変更になったこと。そして、大学入学共通テストが導入されたことです。

就職選考日の変更により、クラスによっては一部進学者の準備時期と重なり、担任に負担を強いることになりましたが、選考自体は問題なく実施され、例年なみの就職内定をいただきました。

進学面では、休校による授業の遅れが懸念されましたが、再開後の計画的措置によって予定した授業進度を確保することができました。また、一部の大学で個別試験を実施しない、といった変更がありましたが、本校生徒への影響はほとんどありませんでした。

大学入学共通テストには213名、学年全体の約77%が出願しました。現時点での国公立四年制大学の現役合格者は63名です。私立四年制大学の合格数は昨年よりもやや減少しました。これは難化ではなくコロナウィルス感染を避けるために出願先を精選した結果だと分析しています。定員厳格化による私大の難化傾向はやや落ち着いてきた感があります。公立短大、私立短大、高専、専門学校の合格者はほぼ例年並の状況でした。

コロナウィルス感染拡大の影響でネガティブな要素、条件が様々にありましたが、そうした状況の中、3年生の多くが落ち着いて粘り強く学習を続けてくれました。

今後は、ますます総合的な学力が要求されます。また、これまで以上に「活動報告」をまとめた「キャリアパスポート」が重視される時代になっていきます。日々の学習に真摯に、かつ主体的に取り組み、確かな学力を培って欲しいものです。

(進路指導部 大屋和彦)

令和2年度3年生進路状況

(3月9日現在 現役生合格者(進学は延べ数、就職は実数))

国立大学	25人
公立大学	38人
私立大学	207人
公立短大	20人
私立短大	13人
高専	19人
医療系専門学校	12人
(高専を除く)	
専門学校	21人
国公立大学校・短大校	3人
公務員	5人
民間就職	9人

2年生 「総合的な探究の時間」 への取り組み

2月9日（火）、2年生が取り組んできた地域課題研究の成果発表会を実施しました。11月の中間発表会と同様に、新型コロナウイルス感染防止対策も兼ねて、オンラインを利用して開催しました。校内の2年生の各教室と1年生の各教室をオンラインで結び、2年生が1年生へ向けて発表を行うとともに、直接来校することができなかった校外の方も、各会場にオンラインで接続してもらうことで、校内外への発表としました。

探究活動を進めている1年生の質問や指摘は鋭く、2年生も回答に戸惑う場面もありました。しかし、2年間の探究活動で得た知識や培ったコミュニケーション力を生かし、懸命に回答をする姿に成長を感じることができました。

校外からの参加者（所属先一覧）

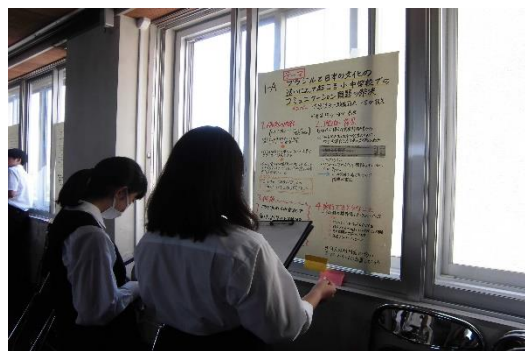
【来校】出雲保健所、島根県教育委員会教育指導課

【オンライン】出雲市役所、古代出雲歴史博物館、出雲観光協会、
スターボックス、出雲市社会福祉協議会、
島根県立大学学長補佐



1年生 「総合的な探究の時間」 への取り組み

1年生は1学期に先輩方の探究学習をポスターや動画を通して垣間見ました。2学期にはブレインストーミングによる情報発散とKJ法による情報の整序の方法、論理的思考について学習しました。その後、個人ごとに身近なところから問題を発見しました。その問題からテーマを設定し、探究活動の流れを経験しました。検証計画の立案まで行い、その内容についてポスターにまとめクラス内で発表をしました。2年生の今年度の取り組みについて、発表を視聴しました。



2年生 体育科スキー実習

1月26日（火）～29日（金）に、だいせんホワイトリゾートにて、2年生体育科のスキー実習を行いました。初めてスキーを体験した生徒も多くいましたが、天候にも恵まれ、どんどん上達しました。新型コロナウイルス感染症対策を行いながらの実習であり、不都合なこともありましたが、生徒達は終始笑顔でスキーにチャレンジしており、大変有意義な実習となりました。



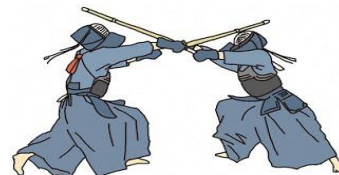
1年生 体育科スケート実習



1月13日（水）から2日間、宍道湖公園湖遊館にて1年生体育科スケート実習を実施しました。初めてスケートをする者もこれまでに経験のある者も、基礎から滑り方を学び、2日目の検定では全員が滑走できるようになりました。3年次にもスケート実習があるので、これを機にスケートに触れる機会が増えることを期待しています。

部活動報告

3 学期もたくさんの生徒が活躍しています。



剣道部

☆島根県高等学校新人剣道大会

男子団体 優勝 (全国選抜大会と中国新人大会に出場)	女子団体 優勝 (全国選抜大会と中国新人大会に出場)
男子個人 優勝 坂本 涼輔 (中国新人大会に出場)	女子個人 優勝 加藤 千恵 (中国新人大会に出場)
2位 大谷 優輝(中国新人大会に出場)	2位 澁谷 志乃 (中国新人大会に出場)
3位 山根 平 (中国新人大会に出場)	3位 深津 愛稀 (中国新人大会に出場)
ベスト8 諏訪 京四郎 (中国新人大会に出場)	3位 福島 紫奈乃 (中国新人大会に出場)
ベスト8 安部 凱生 (中国新人大会に出場)	

サッカー部

☆島根県高等学校サッカー新人大会

決勝 大社1—0立正大淞南

優勝 (2年ぶり14回目)



女子ソフトテニス部

☆島根県高等学校ソフトテニスインドア選手権大会

優勝 板垣菜那・三上星翔ペア



女子バレーボール部

☆中国高等学校新人バレーボール大会

2回戦 大社0—2山口鴻城

合唱部

☆島根県ヴォーカルアンサンブルコンテスト

混声チーム 優良賞

女声チーム 銅賞(第三位)

美術部

☆島根県高校美術展

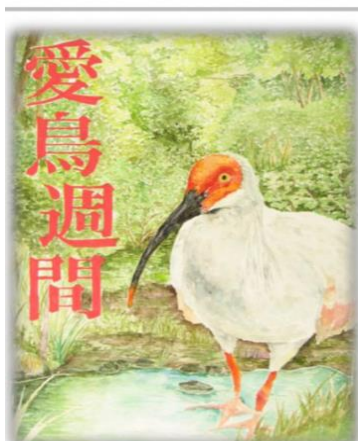
1年 岡本 夕奈 「補う」

(全国高等学校総合文化祭和歌山大会

島根県代表推薦作品選出)

☆令和3年度愛鳥週間用ポスター図案全国コンクール

連盟会長賞 1年 新井 ふわり



今後の予定

3 月

24日(水)	終業式・離任式
25日(木)	入学予定者オリエンテーション

4 月

8日(木)	始業式・新任式
9日(金)	入学式・入舎式
12日(月)	部活動オリエンテーション
20日(火)	3年進研記述模試
21日(水)	遠足
22日(木)	1年スタサポ
26日(月)	防災避難訓練
28日(水)	前期生徒総会・家ク総会

5 月

8日(土)	出校日、PTA総会、学年PTA
13日(木)	中間試験(～18日)
27日(木)	県高校総体(前期 ～30日)

←卒業式には、美術部制作の黒板アートが花を添えてくれました。

❁この他の部活動結果はHPで紹介しています。